



当院採用の経腸栄養剤についての紹介



半消化態栄養剤

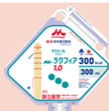
【特徴】

- 窒素源はたんぱく質であり、脂肪も必要量が含まれている栄養剤
- 消化・吸収機能が保たれている場合に第一選択となることが多い

汎用：
メイバランス1.0



下痢：
MAラクフィア1.0



加水タイプ：
メイバランスR



褥瘡：
リカバリーK5



糖質調整：
インスロー



とろみつき：
F2ライト



糖質・たんぱく質調整：
リーナレンLPまたはMP



半固形：
PGソフトエース



消化態栄養剤

【特徴】

- 窒素源は低分子ペプチドとアミノ酸で構成された栄養剤でたんぱく質を含まない
- クローン病や消化・吸収障害がある場合に適応となることが多い
- 腸痙からの経腸栄養にも有用

【当院での使用例】

- ◆ 長期絶食後の経腸栄養開始時
- ◆ 半消化態栄養剤で耐用性がない場合 など

乳糖ゼロ：
ペプタメンスタンダード



脂肪ゼロ：ペプチャーノ

